

地方創生加速化交付金・地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

都道府県名	福島県	担当部署課名	総務課
市町村名	塙町	担当者氏名	薄井和憲
都道府県・市町村コード(5桁)	07483	連絡先	電話
			メールアドレス

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 上段:事業費 下段:交付額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 平成29年度末における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	広域連携事業 農業の新たな「風」によるしごとづくりプロジェクト ダリア切花の広域的な産地化支援事業 はなわのきの生産体制・ブランド化支援事業	地方創生 推進交付金	7,598,400	指標①	ダリアの出荷額	2,000万	円	H33.3	前年度比△800千円	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI 達成に有効であった	KPIは未達成となったが、事業効果はある程度得られていると評価できる。キヌコについては、本シメンが難しいということで、キクラゲなど、次のステップに移っている。地域おこし協力隊も、町での就農を希望しているようで、今後も事業を継続してダリアやキノコの産地化を目指してほしい	事業の継続	・生産体制の強化 ・担い手の確保 ・生産量の安定化と、加工、調理方法の研究と確立 ・内外へのPRを継続
				指標②	中高年層、子育て世代の女性の新規就農者数	10	人	H33.3	増減なし					
				指標③	人材の確保(地域おこし協力隊)	3	人	H33.3	増減なし(現在2名)					
				指標④										
2	米利用資源(竹)を活用したオリジナルブランド化事業	地方創生 推進交付金	43,305,000	指標①	竹パウダー利用生産農家数	100	人	H33.3	12人増	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI 達成に有効であった	KPIについては目標未達成であるが、未達成となった要因を分析し、取り組み方を改善しながら進めていることから、そのプロセスについては評価できる。米のペットボトル販売についても興味深い。今後も同様の姿勢で事業を継続してほしい。	事業の継続	・拠点施設を活用した農法の普及、6次化商品開発を進める ・拠点施設を活用し、交流人口増とは☆竹まる農産物のPRを行う ・ペットボトル米の販売実現に向けた調整等を進める
				指標②	中高年・子育て世代の女性の新規生産者	10	人	H33.3	増減なし					
				指標③	※目標達成率(2019年度実績)20% 264,000千円	264,000千円	円	H33.3	△5,700千円					
				指標④	企業連携	5	件	H33.3	増減なし(現在1件)					
3	竹活用交流施設整備事業	地方創生 拠点整備推進 交付金	45,584,600	指標①	竹パウダー利用生産農家数	100	人	H33.3		地方創生に効果があった	総合戦略のKPI 達成に有効であった	・竹パウダーの製造の拠点として、また、収穫体験や研修のほかに、ダリア染めなどの体験メニューもここで出来るようにして、多くの人に訪れてもらえるよう、活用してほしい。	予定通り事業終了	・施設の効果を十分発揮できるよう、単独で周辺の老朽施設等の修繕を進め、竹パウダーの製造、農法の普及に努める。
				指標②	中高年・子育て世代の女性の新規生産者	10	人	H33.3						
				指標③	※目標達成率(2019年度実績)20% 264,000千円	264,000千円	円	H33.3						
				指標④	企業連携	5	件	H33.3						
4														
5														
6														

各事業の評価等を踏まえた地方版総合戦略の見直しの有無

見直しを行わない

地方版総合戦略を見直した場合はその内容。見直しを行わないこととした場合はその理由

総合戦略に掲げる目標等は、特に見直しを行わない。
各事業とも、ほとんどの目標が未達成となっているが、現状を分析し、課題解決のための取り組んでいる姿勢がみられた。それらの効果があって、ダリアの販売額は微減しは留まり、は☆竹まる農産物については、現場をまわって集荷したり、主力農産物を米に絞ってユニークな販売方法を検討したりしているため、今後もこうした姿勢で事業を継続し、成果につなげてもらいたいということで、一定の効果はあったと評価された。